

平成30年度下半期

(平成30年10月1日から平成31年3月31日まで)

宮崎県公営企業業務状況報告書

電 気 事 業

工 業 用 水 道 事 業

地 域 振 興 事 業

県 立 病 院 事 業

宮 崎 県

平成30年度下半期

(平成30年10月1日から平成31年3月31日まで)

宮崎県公営企業業務状況報告書

電 気 事 業

工業用水道事業

地域振興事業

宮崎県企業局

目 次

電気事業の業務状況

1	事業の概況	1	頁
2	経理の状況	2	〃
3	資産・企業債及び借入金の現在高	5	〃
4	令和元年度の事業の経営方針及び予算の概要	7	〃

工業用水道事業の業務状況

1	事業の概況	8	〃
2	経理の状況	9	〃
3	資産・企業債及び借入金の現在高	12	〃
4	令和元年度の事業の経営方針及び予算の概要	13	〃

地域振興事業の業務状況

1	事業の概況	14	〃
2	経理の状況	15	〃
3	資産・企業債及び借入金の現在高	18	〃
4	令和元年度の事業の経営方針及び予算の概要	19	〃

電気事業の業務状況

電気事業の平成30年度下半期の業務状況と令和元年度の事業の経営方針及び予算の概要をお知らせします。

1 事業の概況

本事業では、6つの河川総合開発事業等により建設した14発電所において発電を行い、電気を供給しています。

平成30年度下半期は、降雨量が多かったことから、供給電力量は1億7,631万kWh余で、目標に対する達成率は116.1%、また、電力料金収入は22億9,018万円余で、目標に対する達成率は101.5%となりました。

(1) 供給電力量

(単位：千kWh)

月別	目標 (A)	実績 (B)	比較 (B-A)	達成率	
				30年度 (B/A)	29年度
10月	34,407	61,531	27,124	178.8%	172.4%
11月	22,531	14,330	△8,201	63.6%	132.6%
12月	18,959	15,886	△3,073	83.8%	57.6%
1月	16,056	11,249	△4,807	70.1%	78.9%
2月	21,377	16,911	△4,466	79.1%	83.4%
3月	38,585	56,412	17,827	146.2%	148.4%
下半期計	151,915	176,319	24,404	116.1%	—
前年度下半期計	148,514	184,941	36,427	—	124.5%

※太陽光発電分は含みません。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(2) 電力料金収入

(消費税込み 単位：千円)

区分	目標 (A)	実績 (B)	比較 (B-A)	達成率	
				30年度 (B/A)	29年度
営業収益分	2,228,977	2,257,968	28,991	101.3%	101.8%
基本料金(定額料金)	2,065,873	2,068,680	2,807	100.1%	100.0%
電力量料金(従量料金)	163,105	189,288	26,183	116.1%	124.6%
附帯事業収益分	27,229	32,213	4,984	118.3%	110.3%
小水力発電料金(従量料金)	27,229	32,213	4,984	118.3%	110.3%
下半期計	2,256,206	2,290,181	33,975	101.5%	—
前年度下半期計	2,231,799	2,273,888	42,089	—	101.9%

※太陽光発電分は含みません。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(3) 職員の状況

(単位：人)

区分	事務職	技術職	その他職員	職員計	うち再任用職員
下半期	25	85	0	110	3
前年度下半期	24	85	0	109	1

※各年度3月31日現在の人員(管理者を除く。)

2 経理の状況

収益的収入については、財務収益の増等により、事業収益の収入率は104.5%となりました。
収益的支出については、営業費用の減等により、事業費の執行率は89.6%となりました。

(1) 収益的収入及び支出（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

ア 収入 科目	(消費税込み 単位：千円)			
	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減額 (B-A)	収入率 (B/A)
営業収益	4,755,960	4,822,446 (2,317,148)	66,486	101.4%
電力料	4,677,548	4,750,205 (2,257,968)	72,657	101.6%
営業雑収益	78,412	72,241 (59,180)	△ 6,171	92.1%
附帯事業収益	81,972	93,470 (34,618)	11,498	114.0%
電力料（小水力発電）	76,588	87,862 (32,213)	11,274	114.7%
電力料（太陽光発電）	5,379	5,353 (2,150)	△ 26	99.5%
附帯事業雑収益	5	255 (255)	250	5100.0%
財務収益	227,220	291,128 (124,374)	63,908	128.1%
営業外収益	85,647	177,596 (56,684)	91,949	207.4%
特別利益	0	0 (0)	0	—
事業収益	5,150,799	5,384,640	233,841	104.5%
前年度事業収益	5,049,442	5,202,866	153,424	103.0%

※（）書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

イ 支出 科目	(消費税込み 単位：千円)				
	予算額 (A)	執行済額 (B)	繰越額 (C)	不用額 (A-B-C)	執行率 (B/(A-C))
営業費用	4,639,603	4,131,830 (2,462,535)	47,212	460,561	90.0%
附帯事業費用	78,060	67,824 (30,148)	0	10,236	86.9%
財務費用	57,445	57,443 (27,104)	0	2	100.0%
営業外費用	247,543	247,541 (144,004)	0	2	100.0%
特別損失	0	0 (0)	0	0	—
予備費	50,000	0 (0)	0	50,000	0.0%
事業費	5,072,651	4,504,637	47,212	520,802	89.6%
前年度事業費	4,940,181	4,398,713	1,163	540,305	89.1%

※（）書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(2) 資本的収入及び支出（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

ア 収入

（消費税込み 単位：千円）

科目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減額 (B-A)	収入率 (B/A)
固定資産売却代金	1	48 (48)	47	4800.0%
貸付金返還金	69,967	69,968 (69,968)	1	100.0%
資本的収入	69,968	70,016	48	100.1%
前年度資本的収入	673,290	670,842	△ 2,448	99.6%

※ () 書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

イ 支出

（消費税込み 単位：千円）

科目	予算額 (A)	執行済額 (B)	繰越額 (C)	不用額 (A-B-C)	執行率 (B/(A-C))
建設改良費	1,618,195	720,013 (554,957)	375,922	522,260	58.0%
企業債償還金	405,393	405,393 (204,314)	0	0	100.0%
繰出金	1,000,000	1,000,000 (0)	0	0	100.0%
雑支出	15	7 (7)	0	8	46.7%
予備費	100,000	0 (0)	0	100,000	0.0%
資本的支出	3,123,603	2,125,413	375,922	622,268	77.4%
前年度資本的支出	3,134,289	1,992,281	410,734	731,274	73.2%

※ () 書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

ウ 主な改良工事の概況（改良工事費 1,000万円以上）

平成30年度下半期に実施した主な改良工事は、次のとおりです。

・綾第一発電所発電機自動制御装置更新工事	295,763 千円
・綾第二発電所発電設備一括更新工事基本設計業務	30,616 千円
・寒川ダム放流警報操作盤取替工事	30,066 千円
・石河内第一発電所直流電源装置取替工事	26,135 千円
・綾第一発電所北機同期用遮断器取替工事	17,187 千円
・渡川発電所故障点標定装置設置工事	11,016 千円

(3) 損益計算書（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

収益の部は、電力料等により、50億 1,987万円余となり、費用の部は、41億 9,318万円余となった結果、8億 2,668万円余の純利益を確保しました。

(消費税抜き 単位：千円)

区 分	金 額	備 考
収益の部	5,019,870 (2,358,289)	
営業収益	4,465,862 (2,145,862)	電力料など
附帯事業収益	86,546 (32,054)	
財務収益	291,128 (124,374)	
営業外収益	176,334 (55,999)	
特別利益	0 (0)	

費用の部	4,193,188 (2,454,102)	
営業費用	4,032,103 (2,377,788)	
附帯事業費用	67,445 (29,860)	
財務費用	57,443 (27,104)	
営業外費用	36,198 (19,351)	
特別損失	0 (0)	

当年度純利益	826,681
その他未処分利益剰余金変動額	679,247
当年度未処分利益剰余金	1,505,929

※ () 書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(4) 貸借対照表（平成31年3月31日現在）

(消費税抜き 単位：千円)

区 分	金 額	区 分	金 額
固定資産	30,221,698	固定負債	3,297,963
電気事業固定資産	16,376,077	建設改良企業債	1,294,331
附帯事業固定資産	792,740	リース債務	11,268
事業外固定資産	136,439	引当金	1,980,971
固定資産仮勘定	325,667	雑固定負債	11,393
投資その他の資産	12,590,776	流動負債	4,282,063
流動資産	23,234,797	建設改良企業債	407,751
現金及び預金	914,184	リース債務	7,458
未収金	504,451	引当金	68,722
貯蔵品	2,116	未払金	883,916
短期投資	21,814,047	未払費用	484,873
		預り金	5,342
		雑流動負債	2,424,000
		繰延収益	856,567
		長期前受金	2,042,910
		長期前受金収益化累計額	△ 1,186,343
		負債合計	8,436,594
		資本金	27,830,973
		固有資本金	265
		繰入資本金	34,388
		組入資本金	27,796,321
		剰余金	12,071,704
		資本剰余金	321,823
		利益剰余金	11,749,881
		評価・換算差額等	5,117,224
		その他有価証券評価差額金	5,117,224
		資本合計	45,019,902
資産合計	53,456,495	負債資本合計	53,456,495

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

3 資産・企業債及び借入金の現在高

(1) 資産

平成31年3月31日現在の資産の状況は、次のとおりです。

(消費税抜き 単位：千円)

科 目	金 額	内 容	
電気事業固定資産	16,376,077	水力発電設備 14,461,855 送電設備 667,344 業務設備 1,246,878	
附帯事業固定資産	792,740	小水力発電設備 708,160 太陽光発電設備 84,580	
事業外固定資産	136,439	有形固定資産 82,295 分収林 54,144	
固定資産仮勘定	325,667	建設仮勘定 325,667	
投資 そ の 他 の 資 産	長期投資	7,907,536	株式 5,003,685 出資金 9,160 長期貸付金 2,894,691
	基金	4,683,053	減債基金 1,702,083 濁水等欠損準備基金 1,000,000 特別修繕基金 1,432,089 退職給付基金 548,881
	その他資産	187	長期前払金 187
	現金及び預金	914,184	当座預金 614,184 定期預金 300,000
未収金	504,451		
貯蔵品	2,116		
短期投資	21,814,047		
合 計	53,456,495		

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(2) 企業債

平成31年3月31日現在の企業債の状況は、次のとおりです。

ア 投資先別企業債明細

(消費税抜き 単位：千円)

投資先	発行総額	償還額累計	未償還残高	備考
電気事業債	37,629,175	35,927,092	1,702,083	
川原発電所	7,415	7,415	0	
石河内第二発電所	9,885	9,885	0	
石河内第一発電所	3,248,875	3,215,181	33,694	
渡川発電所	4,051,000	3,987,723	63,277	
綾第一発電所	7,314,000	7,065,543	248,457	
綾第二発電所	4,056,000	3,997,796	58,204	
立花発電所	2,403,000	2,392,491	10,509	
三財発電所	2,328,000	2,038,805	289,195	
岩瀬川発電所	3,091,000	3,025,830	65,170	
祝子発電所	3,638,000	3,638,000	0	
上祝子発電所	1,327,000	1,154,206	172,794	
田代八重発電所	2,942,000	2,226,033	715,967	
浜砂発電所	1,436,000	1,391,184	44,816	
設備近代化	1,777,000	1,777,000	0	
公共事業債	12,000	12,000	0	
投資債	1,214,200	1,214,200	0	
災害債	20,000	20,000	0	
合計	38,875,375	37,173,292	1,702,083	償還率 95.6%

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

イ 借入先別企業債明細

(消費税抜き 単位：千円)

借入先	発行総額	償還額累計	未償還残高	備考
財務省	14,964,404	14,308,989	655,415	
総務省	4,119,300	4,119,300	0	
地方公共団体金融機構	16,916,000	15,869,332	1,046,668	
宮崎銀行	1,986,620	1,986,620	0	
鹿児島銀行	383,000	383,000	0	
みずほ銀行	131,000	131,000	0	
農林中央金庫	288,000	288,000	0	
一般公募等	87,051	87,051	0	
合計	38,875,375	37,173,292	1,702,083	償還率 95.6%

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(3) 一時借入金

平成31年3月31日現在、一時借入金はありません。

(4) 他会計借入金

平成31年3月31日現在、他会計からの借入金はありません。

4 令和元年度の事業の経営方針及び予算の概要

(1) 事業経営方針

当事業については経営基盤の強化と供給信頼性の向上に努め、電力の安定供給を図るとともに、公営企業として健全経営の維持と地域貢献の充実を積極的に推進します。

(2) 業務予定量

水力発電に係る年間供給電力量を計上しており、料金収入は昨年度に比べ 3,917 万円余の増を見込んでいます。

(消費税込み)

区 分	令和元年度	平成30年度	前年度比
年間供給電力量 (目標)	千kWh 500,036	千kWh 507,855	98.5%
料金収入 (目標)	千円 4,793,306	千円 4,754,136	100.8%

(3) 当初予算額

事業収益は、特別利益の増等により、昨年度に比べ 3 億 2,072 万円余の増、事業費は、固定資産除却費の増等により 1 億 9,934 万円余の増を見込んでいます。その結果、収支残は 2 億 827 万円余 (対前年度比 139.7%増) を見込んでいます。

(消費税込み 単位：千円)

区 分	令和元年度 (A)	平成30年度 (B)	増 減 (A - B)	主な増減理由	
収益的 収支	事業収益	5,471,522	5,150,799	320,723	特別利益の増
	事業費	5,263,243	5,063,896	199,347	固定資産除却費の増
	収支残	208,279	86,903	121,376	
資本的 収支	資本的収入	72,614	69,968	2,646	工事負担金の増
	資本的支出	1,617,945	2,712,869	△ 1,094,924	繰出金の減
	収支残	△ 1,545,331	△ 2,642,901	1,097,570	

※資本的収支の不足額 1,545,331千円は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんする予定

5 むすび

以上が、電気事業の平成30年度下半期の業務状況と令和元年度の事業の経営方針及び予算の概要です。

今後とも、本県の豊かな水資源を生かした水力発電や再生可能エネルギー導入の取組などを通して、本県の産業経済の振興と住民の福祉の増進に寄与してまいります。

工業用水道事業の業務状況

工業用水道事業の平成30年度下半期の業務状況と令和元年度の事業の経営方針及び予算の概要をお知らせします。

1 事業の概況

本事業では、細島工業団地に工業用水を供給する目的で、昭和39年10月から給水を開始しており、給水能力は日量 125,000^mで、現在14者に給水を行っています。

平成30年度下半期は、日向市へ給水を行ったことにより、常時使用水量は 1,191万^m余で目標に対する達成率は 120.1%、給水料金収入は 1億 8,196万円余で、目標に対する達成率は 111.7%となりました。

(1) 給水状況

(単位：千^m)

月 別	基本使用水量	常時使用水量					未達水量
		目 標 (A)	実 績 (B)	比 較 (B-A)	達 成 率		
					30年度 (B/A)	29年度	
10月	3,044	1,690	1,695	5	100.3%	100.9%	1,349
11月	2,945	1,635	1,644	9	100.6%	101.0%	1,301
12月	3,044	1,690	1,699	9	100.5%	100.8%	1,345
1月	3,819	1,690	2,737	1,047	162.0%	100.8%	1,082
2月	3,449	1,526	2,473	947	162.1%	101.0%	976
3月	3,044	1,690	1,666	△ 24	98.6%	100.8%	1,378
下半期計	19,344	9,921	11,914	1,993	120.1%	—	7,430
前年度下半期計	17,869	9,846	9,934	88	—	100.9%	7,935

※平成30年度年間常時使用水量(目標) 19,897千^m

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(2) 給水料金収入

(消費税込み 単位：千円)

区 分	目 標 (A)	実 績 (B)	比 較 (B-A)	達 成 率	
				30年度 (B/A)	29年度
常時使用水量分	111,435	133,817	22,382	120.1%	100.9%
未達水量分	51,441	48,146	△ 3,295	93.6%	98.9%
下半期計	162,876	181,962	19,086	111.7%	—
前年度下半期計	162,578	162,994	416	—	100.3%

※料金単価 基本料金：10.4円/^m、未達料金：6.0円/^m、超過料金：20.8円/^m

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(3) 職員の状況

(単位：人)

区 分	事 務 職	技 術 職	その他職員	職 員 計	うち再任用職員
下半期	0	6.9	0	6.9	1
前年度下半期	0.9	6	0	6.9	0

※各年度3月31日現在の人員(管理者を除く。)

※各年度とも事務職の0.9人は地域振興事業会計との兼務

2 経理の状況

収益的収入については、営業外収益の増等により、事業収益の収入率は 111.3%となりました。

収益的支出については、営業費用の減等により、事業費の執行率は83.1%となりました。

(1) 収益的収入及び支出（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

ア 収入

(消費税込み 単位：千円)

科目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減額 (B-A)	収入率 (B/A)
営業収益	328,681	348,325 (182,563)	19,644	106.0%
営業外収益	46,301	69,129 (20,332)	22,828	149.3%
特別利益	0	0 (0)	0	—
事業収益	374,982	417,454	42,472	111.3%
前年度事業収益	375,142	390,698	15,556	104.1%

※ () 書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

イ 支出

(消費税込み 単位：千円)

科目	予算額 (A)	執行済額 (B)	繰越額 (C)	不用額 (A-B-C)	執行率 (B/(A-C))
営業費用	333,257	276,657 (173,259)	7,560	49,040	84.9%
営業外費用	13,706	13,704 (13,373)	0	2	100.0%
特別損失	0	0 (0)	0	0	—
予備費	10,000	0 (0)	0	10,000	0.0%
事業費	356,963	290,361	7,560	59,042	83.1%
前年度事業費	363,244	291,379	0	71,865	80.2%

※ () 書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(2) 資本的収入及び支出（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

ア 収入 （消費税込み 単位：千円）

科目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減額 (B-A)	収入率 (B/A)
資本的収入	0	0	0	-
前年度資本的収入	0	0	0	-

※ () 書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

イ 支出 （消費税込み 単位：千円）

科目	予算額 (A)	執行済額 (B)	繰越額 (C)	不用額 (A-B-C)	執行率 (B/(A-C))
建設改良費	243,286	54,115 (54,115)	179,421	9,750	84.7%
企業債償還金	5,722	5,722 (2,891)	0	0	100.0%
借入金償還金	60,000	60,000 (60,000)	0	0	100.0%
予備費	10,000	0 (0)	0	10,000	0.0%
資本的支出	319,008	119,837	179,421	19,750	85.9%
前年度資本的支出	130,896	69,397	0	61,499	53.0%

※ () 書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

ウ 主な改良工事の概況（改良工事費 100万円以上）

平成30年度下半期に実施した主な改良工事は、次のとおりです。

- ・工業用水道施設 計装装置取替工事 44,432千円
- ・寒川ダムほか1か所直流電源装置取替工事 9,047千円

(3) 損益計算書 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

収益の部は、給水収益等により3億9,178万円余となり、費用の部は、2億6,870万円余となった結果、1億2,308万円余の純利益を確保しました。

(消費税抜き 単位：千円)

区 分	金 額	備 考
収益の部	391,788 (189,374)	
営業収益	322,659 (169,043)	給水収益など
営業外収益	69,129 (20,331)	
特別利益	0 (0)	
費用の部	268,704 (166,970)	
営業費用	268,101 (166,698)	
営業外費用	603 (272)	
特別損失	0 (0)	
当年度純利益	123,084	
その他未処分利益剰余金変動額	65,722	
当年度未処分利益剰余金	188,806	

※ () 書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(4) 貸借対照表 (平成31年3月31日現在)

(消費税抜き 単位：千円)

区 分	金 額	区 分	金 額
固定資産	2,035,085	固定負債	2,143,380
有形固定資産	2,013,394	建設改良企業債	8,735
無形固定資産	2,095	建設改良他会計借入金	900,000
固定資産仮勘定	19,447	その他の他会計借入金	1,191,225
投資その他の資産	149	引当金	43,420
流動資産	2,371,988	流動負債	182,504
現金及び預金	132,639	建設改良企業債	4,233
未収金	28,489	建設改良他会計借入金	60,000
貯蔵品	860	未払金	62,635
雑流動資産	2,210,000	未払費用	51,567
		預り金	398
		引当金	3,671
		繰延収益	447,062
		長期前受金	836,212
		長期前受金収益化累計額	△ 389,150
		負債合計	2,772,946
		資本金	509,046
		固有資本金	2,906
		組入資本金	506,140
		剰余金	1,125,081
		資本剰余金	1,170
		利益剰余金	1,123,912
		資本合計	1,634,127
資産合計	4,407,074	負債資本合計	4,407,074

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

3 資産・企業債及び借入金の現在高

(1) 資産

平成31年3月31日現在の資産の状況は、次のとおりです。

(消費税抜き 単位：千円)

科目	金額	内容	
有形固定資産	2,013,394	土地	11,913
		建物	99,492
		構築物	1,737,197
		機械及び装置	163,860
		備品	932
無形固定資産	2,095	電話加入権	569
		ソフトウェア	1,526
固定資産仮勘定	19,447	建設仮勘定	19,447
投資その他の資産	149	出資金	140
		長期前払金	9
現金及び預金	132,639	当座預金	132,639
未収金	28,489		
貯蔵品	860		
雑流動資産	2,210,000		
合計	4,407,074		

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(2) 企業債

平成31年3月31日現在の企業債の状況は、次のとおりです。

(消費税抜き 単位：千円)

借入先	発行総額	償還額累計	未償還残高	備考
財務省	177,000	169,945	7,055	
総務省	455,000	455,000	0	
地方公共団体金融機構	780,000	774,087	5,913	
宮崎銀行	717,000	717,000	0	
合計	2,129,000	2,116,032	12,968	償還率 99.4%

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(3) 一時借入金

平成31年3月31日現在、一時借入金はありません。

(4) 他会計借入金

平成31年3月31日現在の他会計借入金の状況は、次のとおりです。

(消費税抜き 単位：千円)

借入先	借入総額	償還額累計	未償還残高	備考
一般会計	1,746,606	1,746,606	0	
電気事業会計	2,924,405	773,180	2,151,225	
合計	4,671,011	2,519,786	2,151,225	償還率 53.9%

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

4 令和元年度の事業の経営方針及び予算の概要

(1) 事業経営方針

当事業については、工業用水の安定供給に努め、県北地域の経済振興に寄与していくとともに、更なる経営の安定化を図るため、引き続き費用抑制に努めます。

(2) 業務予定量

年間総給水量は、13社との契約水量に加え、日向市への給水量を見込み、3,741万 m^3 余としています。料金収入は、日向市への給水により常時使用水量が増となることから、前年度に比べ2,238万円余の増を見込んでいます。

(消費税込み)

区 分	令和元年度	平成30年度	前年度比
年間総給水量 (目標)	千 m^3 37,416	千 m^3 35,817	104.5%
料金収入 (目標)	千円 349,036	千円 326,647	106.9%

(3) 当初予算額

事業収益は、営業収益の増により昨年度に比べ1,599万円余の増、事業費は委託費の増等により661万円余の増を見込んでいます。その結果、収支残は2,791万円余(対前年度比50.6%増)を見込んでいます。

(消費税込み 単位：千円)

区 分	令和元年度 (A)	平成30年度 (B)	増 減 (A-B)	主な増減理由	
収益的 収 支	事業収益	390,974	374,982	15,992	営業収益の増
	事業費	363,062	356,450	6,612	委託費の増
	収支残	27,912	18,532	9,380	
資本的 収 支	資本的収入	0	0	0	
	資本的支出	460,681	319,008	141,673	建設改良費の増
	収支残	△ 460,681	△ 319,008	△ 141,673	

※資本的収支の不足額 460,681千円は、借入金償還積立金等で補てんする予定

5 むすび

以上が、工業用水道事業の平成30年度下半期の業務状況と令和元年度の事業の経営方針及び予算の概要です。

今後とも、健全経営の維持に努め、低廉な工業用水を安定的に供給し、本県の産業振興に寄与してまいります。

地域振興事業の業務状況

地域振興事業の平成30年度下半期の業務状況と令和元年度の事業の経営方針及び予算の概要をお知らせします。

1 事業の概況

本事業では、一ツ瀬川の河川敷を利用してゴルフ場などを整備し、平成2年11月から営業を行っています。

平成30年度下半期の利用者数は14,643人で、冠水被害等の影響により目標を3,257人下回り、目標に対する達成率は81.8%となりました。また、施設利用料収入は指定管理者からの納付金を621万9千円減額したほか、修繕費用負担金等の費用が生じ、699万円余の純損失を計上しました。

(1) ゴルフコース利用状況

(単位：人)

月別	目標 (A)	実績 (B)			比較 (B-A)	達成率	
		平日	休日	合計		30年度 (B/A)	29年度
10月	3,000	1,251	783	2,034	△ 966	67.8%	81.8%
11月	3,200	1,735	1,062	2,797	△ 403	87.4%	95.8%
12月	3,200	1,200	1,116	2,316	△ 884	72.4%	98.8%
1月	3,100	1,748	1,133	2,881	△ 219	92.9%	85.4%
2月	2,700	1,487	858	2,345	△ 355	86.9%	83.7%
3月	2,700	1,601	669	2,270	△ 430	84.1%	88.1%
下半期計	17,900	9,022	5,621	14,643	△ 3,257	81.8%	—
前年度下半期計	17,900	10,330	5,640	15,970	△ 1,930	—	89.2%

※平日の65歳以上の利用者数は8,041人で下半期全体の54.9%

(2) 施設利用料収入（納付金）

(消費税込み 単位：千円)

区分	目標 (A)	実績 (B)	比較 (B-A)	達成率	
				30年度 (B/A)	29年度
下半期計	10,800	9,981	△ 819	92.4%	—
前年度下半期計	10,800	10,800	0	—	100.0%

(3) 職員の状況

(単位：人)

区分	事務職	技術職	その他職員	職員計	うち再任用職員
下半期	0	0.1	0	0.1	0.1
前年度下半期	0.1	0	0	0.1	0

※各年度3月31日現在の人員（管理者を除く。）

※各年度とも0.1人は工業用水道事業会計との兼務

2 経理の状況

収益的収入については、営業収益の減等により事業収益の収入率は84.0%となりました。

収益的支出については、営業費用の減等により、事業費の執行率は93.7%となりました。

(1) 収益的収入及び支出（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

ア 収入

（消費税込み 単位：千円）

科目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減額 (B-A)	収入率 (B/A)
営業収益	21,731	15,509 (9,984)	△ 6,222	71.4%
営業外収益	2,893	5,179 (1,116)	2,286	179.0%
特別利益	0	0 (0)	0	—
事業収益	24,624	20,688	△ 3,936	84.0%
前年度事業収益	24,559	24,750	191	100.8%

※（）書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

イ 支出

（消費税込み 単位：千円）

科目	予算額 (A)	執行済額 (B)	不用額 (A-B)	執行率 (B/A)
営業費用	19,555	18,523 (7,706)	1,032	94.7%
営業外費用	999	997 (497)	2	99.8%
特別損失	8,153	8,152 (8,152)	1	100.0%
予備費	822	0 (0)	822	—
事業費	29,529	27,672	1,857	93.7%
前年度事業費	23,529	21,867	1,662	92.9%

※（）書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(2) 資本的収入及び支出（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

ア 収入

（消費税込み 単位：千円）

科目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減額 (B-A)	収入率 (B/A)
出資金返還金	700	700 (700)	0	100.0%
資本的収入	700	700	0	100.0%
前年度資本的収入	700	700	0	100.0%

※ () 書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

イ 支出

（消費税込み 単位：千円）

科目	予算額 (A)	執行済額 (B)	不用額 (A-B)	執行率 (B/A)
建設改良費	8,640	112 (112)	8,528	1.3%
借入金償還金	9,968	9,968 (9,968)	0	100.0%
予備費	3,000	0 (0)	3,000	0.0%
資本的支出	21,608	10,080	11,528	46.6%
前年度資本的支出	17,254	13,809	3,445	80.0%

※ () 書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

ウ 主な改良工事の概況（改良工事費 100万円以上）

平成30年度下半期に実施した主な改良工事はありません。

(3) 損益計算書 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

収益の部は、施設利用料等により 1,954万円余となり、費用の部は、2,654万円余となった結果、699万円余の純損失を計上しました。

(消費税抜き 単位：千円)

区 分	金 額	備 考
収益の部	19,549 (10,361)	
営業収益	14,370 (9,245)	施設利用料など
営業外収益	5,179 (1,116)	
特別利益	0 (0)	

費用の部	26,541 (15,764)	
営業費用	18,410 (7,634)	
営業外費用	204 (203)	
特別損失	7,928 (7,928)	

当年度純利益 (△は純損失)	△ 6,992	
その他未処分利益剰余金変動額	9,372	
当年度未処分利益剰余金	2,379	

※ () 書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(4) 貸借対照表 (平成31年3月31日現在)

(消費税抜き 単位：千円)

区 分	金 額	区 分	金 額
固定資産	651,703	固定負債	733,592
スポーツ・レクリエーション施設	651,682	建設改良他会計借入金	733,098
投資その他の資産	21	引当金	494
流動資産	229,197	流動負債	17,092
現金及び預金	5,212	建設改良他会計借入金	9,968
未収金	9,984	引当金	27
雑流動資産	214,000	未払金	419
		未払費用	6,678
		繰延収益	1,363
		長期前受金	2,005
		長期前受金収益化累計額	△ 642
		負債合計	752,048
		資本金	95,555
		組入資本金	95,555
		剰余金	33,297
		資本剰余金	5
		利益剰余金	33,292
		資本合計	128,852
資産合計	880,900	負債資本合計	880,900

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

3 資産・企業債及び借入金の現在高

(1) 資産

平成31年3月31日現在の資産の状況は、次のとおりです。

(消費税抜き 単位：千円)

科 目	金 額	内 容	
スポーツ・レクリエーション施設	651,682	土地	28,457
		建物	89,466
		構築物	516,493
		機械及び装置	682
		備品	16,585
投資その他の資産	21	出資金	2,100
		貸倒引当金	△ 2,100
		長期前払金	21
現金及び預金	5,212	当座預金	5,212
未収金	9,984		
雑流動資産	214,000		
合 計	880,900		

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(2) 企業債

平成31年3月31日現在、企業債の残高はありません。

(3) 一時借入金

平成31年3月31日現在、一時借入金ははありません。

(4) 他会計借入金

平成31年3月31日現在の他会計借入金の状況は、次のとおりです。

(消費税抜き 単位：千円)

借入先	借入総額	償還額累計	未償還残高	備 考
電気事業会計	895,000	151,935	743,065	
合 計	895,000	151,935	743,065	償還率 17.0%

4 令和元年度の事業の経営方針及び予算の概要

(1) 事業経営方針

当事業については、平成18年度から指定管理者制度を導入し、利用者のサービス向上を図っているところであり、引き続き指定管理者と緊密に連携しながら、利用促進に努めてまいります。

(2) 業務予定量

年間利用者数(目標)は31,500人とし、施設利用料は1,985万円余を見込んでいます。

(消費税込み)

区 分	令和元年度	平成30年度	前年度比
年間利用者数 (目標)	人 31,500	人 33,500	94.0%
施設利用料 (目標)	千円 19,853	千円 21,600	91.9%

(3) 当初予算額

事業収益は、営業収益の減等により昨年度に比べ235万円余の減、事業費は諸費の減等により197万円余の減を見込んでいます。その結果、収支残は84万円余(対前年度比30.6%減)を見込んでいます。

(消費税込み 単位：千円)

区 分	令和元年度 (A)	平成30年度 (B)	増 減 (A-B)	主な増減理由	
収益的 収支	事業収益	22,272	24,624	△ 2,352	営業収益の減
	事業費	21,425	23,403	△ 1,978	諸費の減
	収支残	847	1,221	△ 374	
資本的 収支	資本的収入	700	700	0	
	資本的支出	22,932	21,608	1,324	建設改良費の増
	収支残	△ 22,232	△ 20,908	△ 1,324	

※資本的収支の不足額22,232千円は、借入金償還積立金等で補てんする予定

5 むすび

以上が、地域振興事業の平成30年度下半期の業務状況と令和元年度の事業の経営方針及び予算の概要です。

今後とも、幅広く県民に親しまれるゴルフ場をめざし、施設の適切な管理運営など利用者のサービス向上に努め、公共の福祉の増進に寄与してまいります。

平成30年度下半期

(平成30年10月1日から平成31年3月31日まで)

宮崎県公営企業業務状況報告書

県立病院事業

宮崎県病院局

目 次

県立病院事業の業務状況

1	事業の概況	20	頁
2	経理の状況	21	〃
3	企業債及び借入金の現在高	22	〃
4	令和元年度の事業の経営方針及び予算の概要	23	〃

県立病院事業の業務状況

県立病院事業の平成30年度下半期の業務状況と令和元年度の事業の経営方針及び予算の概要をお知らせします。

1 事業の概況

平成30年度下半期の事業の概況は、次のとおりです。

(1) 患者の概況

平成30年度下半期における利用患者数は、延入院患者数168,823人、延外来患者数180,953人で、前年度同期と比較すると、入院で6,302人、外来で2,259人減少しています。

ア 延入院患者数（下半期）

(単位：人、%)

病院名	30年度	29年度	増 減	増減率
宮崎病院	74,082	73,780	302	0.4
延岡病院	56,962	61,225	△ 4,263	△ 7.0
日南病院	37,779	40,120	△ 2,341	△ 5.8
計	168,823	175,125	△ 6,302	△ 3.6

イ 延外来患者数（下半期）

(単位：人、%)

病院名	30年度	29年度	増 減	増減率
宮崎病院	84,953	84,995	△ 42	0.0
延岡病院	51,386	53,175	△ 1,789	△ 3.4
日南病院	44,614	45,042	△ 428	△ 1.0
計	180,953	183,212	△ 2,259	△ 1.2

(2) 職員の状況

(単位：人)

年度	職種								計
	医 師	薬剤師	診 療 放射線 技 師	臨 床 検 査 技 師	そ の 他 の 医 療 技 術 員	看護師	事務員		
29年度	201	47	43	52	71	1,083	59	1,556	
30年度	200	46	47	54	85	1,095	65	1,592	
増 減	△ 1	△ 1	4	2	14	12	6	36	

※ 各年度3月31日現在です。また、管理者を除いた数です。

2 経理の状況

(1) 収益的収支（下半期）

平成30年度下半期の収益的収支の状況は、次のとおりです。

(単位：千円)

区分 病院名	収 益 (A)				費 用 (B)				差引 A-B
	医業収益	医業外収益	特別利益	計	医業費用	医業外費用	特別損失	計	
宮崎病院	6,626,828	827,395	0	7,454,223	7,095,982	275,344	0	7,371,326	82,897
延岡病院	5,301,408	640,455	82,188	6,024,052	5,544,989	347,754	0	5,892,743	131,308
日南病院	2,568,256	485,127	139,988	3,193,371	3,133,560	182,581	0	3,316,141	△ 122,770
計	14,496,492	1,952,978	222,177	16,671,646	15,774,532	805,678	0	16,580,210	91,435

※ 四捨五入の関係で、内訳と合計が一致しない場合があります。

(2) 資本的収支（下半期）

平成30年度下半期の資本的収支の状況は、次のとおりです。

(単位：千円)

収 入		支 出	
企 業 債	3,636,600	建 設 改 良 費	3,253,450
一 般 会 計 負 担 金	856,395	企 業 債 償 還 金	1,482,389
そ の 他 資 本 収 入	0	投 資	3,300
計	4,492,995	計	4,739,139
		収支差引	△ 246,145

※ 四捨五入の関係で、内訳と合計が一致しない場合があります。

(3) 貸借対照表

平成31年3月31日現在の貸借対照表は、次のとおりです。

(単位：千円)

資産の部		負債・資本の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
固定資産	30,713,074	固定負債	24,043,942
流動資産	18,200,411	流動負債	15,559,967
繰延資産	0	繰延収益	2,532,579
		負債合計	42,136,487
		資本金	12,743,396
		剰余金	△ 5,966,398
		資本合計	6,776,997
資産合計	48,913,484	負債・資本合計	48,913,484

※ 四捨五入の関係で、内訳と合計が一致しない場合があります。

3 企業債及び借入金の現在高

(1) 企業債明細表

平成31年3月31日現在の企業債の状況は、次のとおりです。

(単位：千円)

区分 病院名	発行総額	償還額		未償還残高
		当年度	累 計	
宮崎病院	7,325,400	676,377	2,271,967	5,043,433
延岡病院	23,632,100	1,251,211	13,158,653	10,473,447
日南病院	18,153,700	1,025,321	10,077,137	8,076,563
計	49,111,200	2,952,909	25,507,756	23,603,444

※ 四捨五入の関係で、内訳と合計が一致しない場合があります。

(2) 一般会計借入金 なし

(3) 一時借入金 なし

4 令和元年度の事業の経営方針及び予算の概要

(1) 経営方針

公共の福祉の増進と経済性の発揮との調和を図りながら、本県の中核病院としての医療水準・患者サービスの向上と県民医療の確保を図ることを基本としています。

(2) 年間患者数（目標）

（単位：人）

	元年度目標	30年度予算	増 減
延入院患者数	362,445	360,620	1,825
延外来患者数	375,028	373,076	1,952
計	737,473	733,696	3,777

(3) 予算の概要

ア 収益的収入及び支出

収入

（単位：千円）

款	項	目	予定額	備考
病院事業収益	医業収益	入院収益	34,909,415	
		外来収益	30,604,209	
		一般会計負担金	22,545,246	
		その他医業収益	7,023,023	
		その他医業収益	645,765	
	医業外収益	受取利息配当金	390,175	
		一般会計負担金	4,093,661	
		一般会計補助金	3,000	
		補助金	2,179,027	
		補助金	230,490	
		長期前受金戻入	52,793	
		その他医業外収益	1,508,326	
	特別利益	その他医業外収益	120,025	
	特別利益	211,545		

支出

（単位：千円）

款	項	目	予定額	備考
病院事業費用	医業費用	給与費	34,429,360	
		材料費	33,825,422	
		経費	16,243,476	
		減価償却費	9,290,573	
		資産減耗費	5,365,557	
		研究研修費	2,662,215	
		研究研修費	78,020	
		研究研修費	185,581	
		研究研修費	600,938	
		研究研修費	435,092	
	医業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	46,055	
		雑損失	15,000	
		消費税及び地方消費税	0	
		繰延勘定償却	104,791	
		繰延勘定償却	0	
		繰延勘定償却	3,000	
特別損失	繰延勘定償却	0		
予備費	繰延勘定償却	3,000		

イ 資本的収入及び支出

収入

(単位：千円)

款	項	目	予定額	備考
資本的収入	企業債		6,288,625	
			4,634,200	
	一般会計負担金	企業債	4,634,200	
			1,654,425	
		一般会計負担金	1,654,425	

支出

(単位：千円)

款	項	目	予定額	備考
資本的支出	建設改良費		7,729,471	
			4,981,949	
		改築整備費	1,984,808	
		改良工事費	917,731	
		資産購入費	1,945,375	
		リース資産購入費	134,035	
	企業債償還金		2,710,522	
		企業債償還金	2,710,522	
	投資		36,000	
		投資	36,000	
	予備費		1,000	

むすび

県立病院事業の平成30年度下半期の業務状況と令和元年度の経営方針及び予算の概要は、以上のとおりです。

今後とも本県の中核病院として機能充実と経営健全化に向けた努力を重ねながら、より良い医療サービスの確保に努力してまいります。